

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場
	一般講演 〈ホットイシュー〉 エビデンス・ベース トのプランニングと 戦略策定①	一般講演 〈ホットイシュー〉 新しい技術とプラッ トフォーム①	一般講演 技術経営(事例・ビ ジネスモデル・事 業化)①	一般講演 〈ホットイシュー〉 エネルギー環境・イ ノベーションを通 じての地域経済の 発展	一般講演 〈ホットイシュー〉 研究開発・イノ ベーション人材の 多様性とキャリア 展開①	一般講演 技術経営(戦略・ R&Dマネジメント) ①	一般講演 研究・イノベーション 政策①	一般講演 〈ホットイシュー〉 オープンサイエン ス(年次シンポジ ウム運動企画)	一般講演 イノベーション・起 業①	一般講演 産官学連携・地域 ①	一般講演 知的財産
	座長 金間大介	座長 中田行彦	座長 藤原孝男	座長 吉川 暹	座長 吉澤 剛	座長 江藤 学	座長 富澤宏之	座長 高谷 徹	座長 遠藤 悟	座長 西尾好司	座長 新村和久
9:30	1A01 2050年以降を見 据えたエネル ギー社会ビジョ ン検討—スキヤ ニング手法を用 いた長期未来洞 察— ○高橋玲子, 中 村亮二, 鷲田祐 一 (JST)	1B01 「市場形成型プ ラットフォー ム」を活用した オープンイノ ベーションの研 究—NTTデータの 事業インフラ: “ANSER” “CAFIS”の事例 に見る— ○尾崎弘之(神 戸大), 残間光 太郎 (NTTデー タ)	1C01 サードパーティ との保守情報共 有に対するイン パクト分析 永松陽明(横浜 市立大), ○藤 祐司(東工大)	1D01 持続可能エネル ギー環境・イノ ベーションを通 じての地域創生 ○吉川 暹, 桑 島修一郎(京 大)	1E01 働き方改革の多 面的な展開に向 けて ○谷口邦彦(関 西産業活性協議 会)	1F01 産業競争力の低 下と日本企業の 人材観に関する 一考察 ○橋本 健(未 来工研)	1G01 研究「環境」と 「成果」の関係 という視点によ る分析フレーム ○仲野安紗, 稲 石奈津子, 神谷 俊郎, 佐々木 結, 藤枝絢子, 森下明子, 大澤 由美, 伊藤健雄 (京大)	1H01 モバイル顕微鏡 が拓くユーザー 参加型イノベ ーションの新たな 地平 ○田原敬一郎, 白根純人(科学 コミュニケーション 研究 所), 永山國昭 (Life is small)		1J01 地域創生に寄与 する関西のイノ ベーション創発 組織 ○山崎宏之(LLP 山崎宏之事務 所)	1K01 TRIPSのLDC向け 特例措置がバン グラデッシュの 製薬産業に与え る影響の分析 ○三森八重子 (阪大)
9:45	1A02 未来創造のため のデザイン手法 ○澤谷由里子 (東京工科大)	1B02 自律型商品に必 要な製品化プロ セスの変革:ロ ボット掃除機ル ンバの事例研究 ○間野 茂, 延 岡健太郎(一橋 大)	1C02 感覚擦り合わせ 型の製品開発 香 料開発について のケース研究 ○氏田壮一郎 (NISTEP), 玉 田俊平太(関西 学院大), 原 泰史(政研大)	1D02 天然物由来機能 材料による環境 改善と地域経済 の振興 ○加藤英一, 井 上正春(環境科 学開発), 吉川 暹(京大)	1E02 研究者に求めら れる Transferable skills—大阪大 学の公募要領分 析から得られた 知見— ○伊藤京子, 長 島京子, 高野 誠, 池田雅夫 (阪大)	1F02 大転換期の技術 経営における前 適応のメカニズ ム ○田中秀穂(芝 浦工大)	1G02 イノベーション における「時 間」と「空間」 —未来ビジョ ンを描く4つの視 点 ○嶋田 健(政 研大)	1H02 社会課題への市 場原理と調和し た対応策—「共 用品研究所」の 創設と高齢・障 害の外縁ニーズ への対応— ○後藤芳一(共 用品推進機構/ 日本福祉大), 松森ハルミ, 星 川安之(共用品 推進機構)	1I02 中国におけるス タートアップ支 援制度 ○周 少丹 (JST)	1J02 地方創生に向け た科学技術イノ ベーション政策 の現状と今後の 展開に関する考 察 ○岡本信司(文 科省)	1K02 企業の知財活動 評価指標として の特許と意匠・ 商標の比較研究 ○大崎敏郎, 片 桐広貴, 大石宏 晶, 中村達生 (VALUENEX), 中山保夫, 富澤 宏之(NISTEP)

10月28日(土) 10:00~10:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
10:00	<p>1A03 アジア大洋州における未来洞察の政策・戦略立案における活用状況 ○七丈直弘(東京工科大), 鷲田祐一(一橋大)</p>	<p>1B03 ライドシェアリングによる自動車産業の変容の方向 ○中村吉明(専修大)</p>	<p>1C03 量産工程における3Dプリンタ活用に関するイノベーション ○橋口伸樹, 児玉耕太, 三藤利雄(立命館大)</p>	<p>1D03 エネルギー政策の日欧比較—再生可能エネルギーは地域の資源として法整備— ○本庄孝子(元産総研), 大槻眞一(龍谷大)</p>	<p>1E03 高度人材の多様なキャリアパス構築を目的としたプログラムの効果的評価に関する検討—博士課程教育リーディングプログラムを事例として ○重藤さわ子, 佐藤 勲(東工大)</p>	<p>1F03 日本企業の研究体制再考: 東大先端研サーベイ ○馬場靖憲(東大), 柴田友厚(東北大), 七丈直弘(東京工科大), 西岡潔(東大)</p>	<p>1G03 公的研究機関における研究基盤施設が行う外部共用のドミナントロジックを通じた考察 ○小野田敬, 伊藤泰信(北陸先端大)</p>	<p>1H03 高齢者・地域が参加する高齢社会地域モデル開発への国際共同による取組み—オープン型イノベーション推進の新しい手法の試みとして— ○後藤芳一(日本福祉大), 村上隆志, 久永幸博(JST)</p>	<p>1I03 米国におけるスタートアップ支援制度 ○富田英美(JST)</p>	<p>1J03 地域イノベーションシステムに関する意識調査における考察—地域の自己認識の考察— ○荒木寛幸, 犬塚隆志(NISTEP)</p>	<p>1K03 発明者情報をもとに抽出した国立大学の教職員による特許の実態 ○細野光章(NISTEP/岐阜大), 中山保夫, 富澤宏之(NISTEP)</p>	10:00
10:15	<p>1A04 三菱重工における戦略策定に向けた社会の未来洞察の取り組み ○松尾 淳, 高野飛鳥, 堀添浩司, 後藤征司(三菱重工), 七丈直弘(東京工科大)</p>	<p>1B04 Digitalizationの進展とビジネスモデル変革—「プラットフォーム革命」の立場からのアプローチ— ○高橋 浩(北陸先端大)</p>	<p>1C04 モバイル・ブロードバンドの普及要因分析—アップルによるiPhone供給戦略が携帯会社間の競争に与えた影響— ○篠原聡兵衛(静岡大/KDDI総研)</p>	<p>1D04 ASEAN地域の非電化地区における再生可能エネルギー導入による住民生活への影響 ○大垣英明, Hooman Farzaneh(京大), Nasrudin Abd Rahim, Hang Seng Che(マレーヤ大), Mohd Amran Mohd Radz(マレーシア国民大), Wallace Shung Hui Wong, Lai Chean Hung(スウィンバーン大)</p>	<p>1E04 博士の入職経路の特徴と賃金・仕事満足度で見たマッチング効率の検証—「博士人材追跡調査」の個票データを用いて— ○小林淑恵(NISTEP)</p>	<p>1F04 外部知識の吸収と組織内知識普及の連鎖を促進するマネジメント ○村上由紀子(早大)</p>	<p>1G04 クリニカルシーケンシングの普及要件に関する研究 ○佐藤真輔(文科省), 加納信吾(東大)</p>	<p>1H04 「MEA Parser」の国際公開から得られたオープンサイエンスの考慮点 ○犬塚隆志, 井出吉紀(日本薬理評価機構)</p>	<p>1I04 英国におけるスタートアップ支援制度 ○津田憂子(JST)</p>	<p>1J04 大学の研究活動と地域産業の生産性 ○枝村一磨(日本生産性本部)</p>	<p>1K04 研究開発能力獲得のため外部資源へアクセスする企業の行動—抗体医薬技術動向の分析— ○吉田昇平, 高橋真木子(金沢工大)</p>	10:15

10:30

10:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
10:30	1A05 超長期の科学技術と社会の課題の把握のための定性的将来予測の取組み ○大竹裕之, 平澤 洽, 野呂高樹 (未来工研)	1B05 デジタル経済下でのGDP計測—Un-captured GDPの実相と国際対応 ○藤 祐司 (東工大), 渡辺千俣, 岩見紫乃 (ユヴァスキュラ大)	1C05 シャツ型スマートウェアによるS A S (睡眠時無呼吸症候群)スクリーニング検査の検討について ○森 裕子, 児玉耕太, 塩澤成弘 (立命館大)	1D05 EVシフトを強める世界における水素の可能性 ○常定 健, 児子英之, 永山則之 (岡山県工業技術センター)	1E05 研究開発支援事業を通じた産学連携の推進およびキャリアパスへの展開 ○馬場大輔 (NEDO)	1F05 分離戦略の帰結としての制度複雑性の析出—オープンイノベーションを題材とした定性研究— ○舟津昌平, 梶山泰生 (京大)	1G05 中小企業のイノベーション (イノベーション) (イノベーション) 施設有効性の実証研究 ○高橋昌弘 (一橋大)	1H05 北海道大学における次世代オープンファシリティ戦略—GFC試作ソリューション事業— ○江端新吾, 阿部真育, 上原広充, 女池竜二, 中村晃輔, 野村秀彦, 竹内大登, 佐々木康隆, 菅野孝照, 網塚 浩 (北大)	1I05 ドイツにおけるスタートアップ支援制度 ○澤田朋子 (JST)	1J05 保健医療・環境系公設試験研究機関における地域産業への貢献事例の分析 ○小林俊哉, 永田晃也 (九大)	1K05 医薬品と食品の特許実務の比較研究 ○加藤 浩 (日大)	10:30
10:45	1A06 欧州におけるフォーサイトの取組と政策立案等への貢献 ○野呂高樹 (未来工研)	1B06 デジタル経済下でのGDP計測—Un-captured GDPの構造解析と計測 ○渡辺千俣 (ユヴァスキュラ大), 藤 祐司 (東工大), 岩見紫乃 (ユヴァスキュラ大)	1C06 IoT環境における中小企業のビジネスシステムの実証研究 ○安田弘一, 伊佐田文彦 (関西大)	1D06 地域活性化を目指す自律分散電源やEMSへの取組み ○安田昌司, 奥健夫 (滋賀県立大), 池本末和 (湖南市)	1E06 イノベーション創出を支援する人材の育成:産総研の取り組み事例 ○中村 修 (産総研), 小林直人 (早大)	1F06 研究開発プロジェクト支援事業における成功・失敗要因の分析 ○田口淳子 (筑波大/大鵬薬品), 立本博文, 佐藤忠彦 (筑波大)	1G06 日本の主要産業における研究開発の外部化の進展 ○矢口雅江, 富澤宏之 (NISTEP)	1H06 北海道大学における次世代オープンファシリティ戦略—GFCにおける政策連携事業— ○江端新吾, 上原広充, 阿部真育, 網塚 浩 (北大)	1I06 フランスにおけるスタートアップ支援制度 ○八木岡しおり (JST)	1J06 地域間産業競争に於ける研究開発型スタートアップ支援によるベンチャーエコシステム構築の視点 ○橋詰忠昭 (NEDO)	1K06 医薬品ポートフォリオの価値考察 ○菅 愛子, 高橋大志 (慶大)	10:45
11:00	1A07 未来予測から見た社会の構造的な変化とイノベーションをデザインする手法の考察 ○清水克彦 (東京創研)	1B07 なぜ日本の地上波テレビ放送はネット同時再送信を提供しないのか?:日米のビジネスモデル比較 ○寺田真一郎 (カリフォルニア大), 渡邊智暁 (慶大)		1D07 20年後の日本のエネルギー問題と地域性 ○弘岡正明 (テクノ経済研究所)	1E07 教育のイノベーションに関する一考察(5)—学び続ける?— ○小粥幹夫 (日本経済大)	1F07 研究開発戦略とその効果 「民間企業の研究活動に関する調査報告2016」から見た研究開発マネジメント ○氏田壮一郎, 富澤宏之 (NISTEP)	1G07 地域科学技術イノベーション政策に関する自治体の情報ニーズ—「地域科学技術イノベーション政策支援システム『RESIDENS』」の活用調査に基づく分析— ○栗山康孝, 永田晃也 (九大)	1H07 第5期科学技術基本計画に見る科学技術情報2—記述内容の変化とオープンサイエンス— ○前田知子 (政研大)	1I07 イスラエルにおけるスタートアップ支援制度 ○峯畑昌道 (JST)	1J07 地域における科学技術イノベーションの普及要因の考察:ファインバブルの農業・水産業への応用事例の検討 ○吉岡 (小林) 徹 (東大)	1K07 化学系企業の特許出願の件数減少の実状と被引用特許との関連性について ○正井純子	11:00

10月28日(土)11:15～12:00

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
11:15	1A08 科学技術がもたらす社会変化と予測活動 ○横尾淑子, 中島潤, 赤池伸一 (NISTEP)	1B08 討論		1D08 再生可能エネルギーを使った地域活性化事業の経済的・社会的インパクト評価 ○三森八重子 (阪大)	1E08 討論			1H08 “ポストトゥルース”時代の科学コミュニケーションとオープンサイエンス ○白川展之, 矢野幸子 (NISTEP)	1I08 スタートアップ・アクセラレータによるベンチャーエコシステムの強化と拡大 ○鈴木勝博 (桜美林大)		1K08 意匠権の創作者情報に着目した企業のデザイン活動の分析 ○勝本雅和, 津田井克也 (京都工芸繊維大)	11:15
11:30	1A09 討論			1D09 日本、タイ、ベトナムにおける農村への再生可能エネルギー導入 ○石原慶一 (京大)				1H09 オープンサイエンス政策の実践とその展望 ○林和弘 (NISTEP)				11:30
11:45				1D10 討論				1H10 討論				11:45
12:00												12:00

10月28日(土) 12:30～12:50 シンポジウムホール (国際科学イノベーション棟 5階)
総会

10月28日(土) 12:50～13:15 シンポジウムホール (国際科学イノベーション棟 5階)
会長講演
宮崎 久美子 (本学会会長)

10月28日(土) 13:15～13:50 シンポジウムホール (国際科学イノベーション棟 5階)
学会賞・論文賞 表彰式, 表彰者講演

10月28日(土) 14:00～17:15 シンポジウムホール (国際科学イノベーション棟 5階)
シンポジウム
「関西流イノベーションとその期待 ～関西支部30周年を迎えて」
主催者挨拶
桑島 修一郎 (京都大学産学連携本部/大会実行委員長)
大槻 眞一 (本学会関西支部長)

基調講演
「我が国の科学技術イノベーション戦略 ～産学官連携によるSociety 5.0の実現～」
久間 和生 (総合科学技術・イノベーション会議議員)

特別講演

福島 洋 (経済産業省技術総括・保安審議官)
宮部 義幸 (パナソニック株式会社専務執行役員 [全社CTO])

関西支部設立30周年記念報告

西原 一嘉 (本学会関西支部副支部長)

パネルディスカッション

「産官学連携によるイノベーション～イノベーションの新たな「型」と「型破り」～」
パネリスト

渡邊 政嘉 (NEDO理事)
斉藤 卓也 (徳島大学副学長)
今中 雄一 (京都大学医学研究科教授)
土佐 尚子 (京都大学総合生存学館 [思修館] 教授 [兼任])

ファシリテーター

宮野 公樹 (京都大学学際融合教育研究推進センター
准教授/大会実行委員)

10月28日(土) 17:30～19:30 ホワイエ (国際科学イノベーション棟 5階)
懇親会

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場
	一般講演 〈ホットイシュー〉 エビデンス・ベース トのプランニングと 戦略策定②	一般講演 〈ホットイシュー〉 農林水産業におけ る産学連携と技術 起点型事業開発	一般講演 〈ホットイシュー〉 新しい技術とプラッ トフォーム②	一般講演 分析と評価①	企画セッション チームサイエンス の促進を考えるに は	一般講演 技術経営(戦略・ R&Dマネジメント) ②	一般講演 研究・イノベーション政策②	一般講演 国際(競争と協調)	一般講演 技術経営(戦略・ R&Dマネジメント) ③	一般講演 産官学連携・地域 ②	
	座長 七丈直弘	座長 妹尾堅一郎	座長 細野光章	座長 小林直人	司会 近藤康久	座長 玄場公規	座長 富田純一	座長 枝村一磨	座長 仙石慎太郎	座長 伊藤正実	
9:30	2A01 学術論文への国 際特許分類 (IPC) 付与によ る産学連携の検 討:メインクラ ス分析とサブク ラス分析 ○開本 亮(神 戸大), 難波英 嗣(広島市立 大)	2B01 伝統食品産業に おけるマス・カ スタマイゼー ション: 製造業 のパラダイムシ フト理論による 考察 ○金間大介, 宮 ノ下智史(東京 農大)	2C01 テクノロジーの 進化がもたらす PR (Public Relations) 業界 のビジネスモデ ルの変化 ○岩本 隆(慶 大), 高橋美寿 子(ヴィアウィ トゥス)	2D01 日本の論文産出 構造における大 学グループ別の 研究活動の特徴 ○村上昭義, 伊 神正貫 (NISTEP)	開会挨拶 ○佐藤賢一 (NP0 ハテナソトラ ボ) 話題提供 チームサイエン スの科学はどの ような学問か ○王 戈 (JST)	2F01 クラレのPA9Tの 成功はどのよう に達成されたか ○六田充輝 (一 橋大)	2G01 2030年ブレイク スルー産業の方 向 ○岡岡叡峻(社 会インフラ研究 センター)		2I01 グローバル・ ニッチトップ企 業の日独比較一 イノベーション と国際化の視点 からー ○難波正憲, 藤 本武士, 福谷正 信, 牧田正裕 (立命館アジア 太平洋大)	2J01 共同研究講座・ 協働研究所によ る産学連携の展 開 ○田中敏嗣(阪 大)	9:30
9:45	2A02 学術論文への国 際特許分類 (IPC) 付与によ る産学連携の検 討:京大、阪 大の学術 論文のIPC分析 ○開本 亮(神 戸大), 難波英 嗣(広島市立 大)	2B02 間伐材等中低品 質無垢材による 巨大建築と自治 体(室戸屋内野 球練習場建設の 取り組み) ○今井克彦(森 林経済工学研究 所)	2C02 医療におけるIoT とレギュレー ション ○加納信吾(東 大)	2D02 国立大学法人評 価からみる国立 大学の「卓越し た研究業績」の 特性 ○林 隆之(大 学評価・学位授 与機構)	チームづくりを 促進する場づく り ○加納 圭(滋 賀大) ハテナソン(質 問作りワーク ショップ) ファシリテー ター ○佐藤賢一 (NP0 ハテナソトラ ボ)	2F02 創造性の機会と 促進マネジメン トに関する考察 ○板谷和彦(香 川大)	2G02 財団によるイノ ベーション促進 策 ○能見利彦(機 械システム振興 協会)		2I02 グローバルR&Dオ フショアにおけ る 個人能力を引 き出すマネジメ ント ○王 洋(リ コー/北陸先端 大), 内平直志 (北陸先端 大), 小川泰 嗣, 川口敦生 (リコー)	2J02 協働研究所によ る産学連携NEDO プロジェクトの 成果 ○中澤慶久(阪 大), 武野真 也, 鈴木伸昭 (阪大/日立造 船), 後藤芳一 (東大)	9:45
10:00	2A03 21世紀社会に 必要な Computing 人材 の実態調査 ○大岩 元(協 創型情報空間研 究所/慶大名譽 教授)	2B03 事業モデル仮説 に基づいた水産 業における産学 連携の試み: 『サステイナブル 漁業に向けた データ指向型リ アルタイム解析 基盤の開発』で の取組事例 ○笠原秀一, 飯 山将晃, 美濃導 彦(京大)	2C03 サービス・エコ システムの形成 を考慮したIT サービス構築モ デルの提案ー IaaS提供企業の 事例研究ー ○番家賢一朗, 内平直志(北陸 先端大)	2D03 著者の属性情報 と個人識別番号 に基づく研究者 の論文生産履歴 の分析 ○川島浩誉 (NISTEP), 調 麻佐志(東工 大)	質疑応答/まとめ ○茶山秀一 (JST)	2F03 遊技用機械器具 分野における異 分野技術の融合 による新製品開 発 ○廣瀬正幸(一 橋大)	2G03 産学医連携の新 しいモデルにつ いて-JSR・慶應 義塾大学医学化 学イノベーション センターの紹介 ○仁賀建夫(経 産省/慶大), 清水喬雄(JSR)	2H03 研究における戦 略的パートナー シップマネジメ ントと、政策と の関係性: 欧州 の事例と考察 ○望月麻友美, 大林小織(阪 大)	2I03 日本企業におけ る海外R&D活動撤 退の分析 ○安田英土(江 戸川大)	2J03 行動経済学的手 法による産学官 連携事例の分析 ○西川洋行(県 立広島大), 林 里織(山口 大), 入野和朗 (愛媛大)	10:00

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
10:15	2A04 発表中止	2B04 農産物品種開発におけるプレーヤーの状況に関する分析 ○野津 喬 (実践女子大)	2C04 知識産業革命期の経営戦略とその展開 ○旭岡勲峻 (社会インフラ研究センター)	2D04 特許による国内研究機関の論文の引用一指標の性質の検討一 ○山下泰弘, 治部眞里 (JST)	企画セッション 続き	2F04 ビッグデータを活用した医薬品ライフサイクルにおける学術活動の分析手法の検討一免疫抑制剤Tacrolimusを事例として一 ○高橋亜紀子, 加納信吾 (東大)	2G04 『同床異夢』によるプロジェクトの成立プロセス ○谷口 諒 (一橋大)	2H04 中堅企業の国際技術連携戦略 ○鈴木真也 (武蔵大)	2I04 パターン・ランゲージを用いたプロジェクトマネジメント経験の共有法について ○峯尾岳大 (NEDO)	2J04 農業クラスターの競争力構築と成長戦略に関する事例研究 ○長谷川光一 (九大)		10:15
10:30	2A05 科学技術イノベーション政策立案のためのデータプラットフォーム構築による科学技術分野の同定一 ○原田裕明 (JST), 小柴等 (NISTEP), 池内健太 (経産研), 原 泰史, 黄 俊揚 (政研大), 黒田昌裕 (JST)	2B05 広島県食品工業技術センター「やわらか食」生産技術の事業化一農林水産業における産官学連携事例に関する一考察①一 ○上野洋和, 妹尾堅一郎, 伊澤久美, 丸島和也, 関本奈菜子, 大沼妙子 (産学連携推進機構)	2C05 Mapping Science一文書ベクトルを用いた科学技術マップの作成と萌芽領域の抽出一 ○川村隆浩, 渡邊勝太郎, 松本尚也, 江上周作, 治部眞里 (JST)	2D05 科研費分野分類を用いた大学の部局別研究論文業績の分析について On the Use of the Grants-in-Aid Classification System to Analyze the Department Level Scientific Publications of a University ○Gautam Pitambar, 岡田直資 (北大)		2F05 「電気自動車ドミノ」のモジュール化戦略へのインパクト ○中田行彦 (立命館アジア太平洋大)	2G05 家庭用製品の安全技術の社会実装に関する事例研究一ガスコンロの過熱防止装置 ○和泉 章 (一橋大)	2H05 欧州における科学イノベーション政策研究のための研究インフラ (RISIS) と日本の現状についての考察 ○林 信濃, 中川尚志, 原田裕明, 松尾敬子 (JST)	2I05 加算双曲型割引関数理論を用いた組織内意思決定プロセスに関する一考察 ○安藤良祐, 永田晃也 (九大)	2J05 市民参加型共創に関する研究一日本のLiving Labの事例から一 ○西尾好司 (富士通総研)		10:30
10:45	2A06 機械学習を用いた科学技術イノベーション政策における論点の抽出:一線級の研究者・有識者を対象とした大規模意識調査の自由記述を用いたチャレンジ ○伊神正真, 村上昭義 (NISTEP)	2B06 株式会社T. M. Lのソフトスチーム技術の事業化一農林水産業における産官学連携に関する一考察②一 ○丸島和也, 妹尾堅一郎, 伊澤久美, 上野洋和, 関本奈菜子, 大沼妙子 (産学連携推進機構)	2C06 製品開発のR&D集約度解析に係る新たなアプローチの評価 ○原 泰史 (政研大), 池内健太 (経産研), 小柴 等 (NISTEP)	2D06 英国の大学評価REF:人文社会科学の分野ごとのアウトプットとインパクトの特徴 ○島岡未来子, 小林直人 (早大), Lily Yu (笹川平和財団)		2F06 デジタル経済下の製造業のイノベーション活性化ダイナミズムの実証分析 (2) 一産業の興亡とオープン・イノベーションの役割一 ○中川正広 (横国大/都市大/住友電工), 渡辺千俣 (ユヴァスキラ大)	2G06 政府資金による科学技術関係活動に関する文書情報を用いた試行的分析 ○岸本晃彦, 富澤宏之 (NISTEP)	2H06 タイの日系企業志望の若手エンジニアの特性 ○近藤正幸 (東京電機大)	2I06 Option-games and Multi Criteria Analysis for Power Generation Investment Evaluation ○Ida Sri Wardani, 藤原孝男 (豊橋技科大)	2J06 米国の大型産学連携実現システム ○高谷 徹, 荒木杏奈 (三菱総研)		10:45

10月29日(日) 13:00~13:45

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
	一般講演 技術経営(戦略・R&Dマネジメント) ④	一般講演 分析と評価②	一般講演 技術経営(事例・ビジネスモデル・事業化)②	一般講演 (ホットイシュー) スター・サイエンティストとイノベーション	一般講演 (ホットイシュー) 研究開発・イノベーション人材の多様性とキャリア展開②	一般講演 (ホットイシュー) 日本における学際・超学際研究の研究・実施・支援・評価の発展	一般講演 研究・イノベーション政策③	一般講演 科学と社会	一般講演 イノベーション・起業②	一般講演 技術経営(教育・育成)／人材		
	座長 松嶋一成	座長 林 隆之	座長 谷口 諒	座長 桑島修一郎	座長 中川尚志	座長 林 和弘	座長 白川展之	座長 宮野公樹	座長 板谷和彦	座長 谷口邦彦		
13:00	2A15 Public Private Partnershipを通じた建設会社のオープン・サービスイノベーションに向けた組織能力の変革に関する研究 ○末廣多恵子, 宮崎久美子(東工大)	2B15 RISTEXにおける共創的研究開発プログラムの評価 ○安藤二香(JST), 田原敬一郎(未来工研)	2C15 バイオ医薬品製造関連事業の事業・製品戦略の考察 ○仙石慎太郎(東工大), 浜本 亮	2D15 日本のスター・サイエンティストの基礎分析 齋藤裕美(千葉大), ○福留祐太(慶大), 牧兼 充(政研大/早大)	2E15 米国のURAシステムの発展と現状 ヤング吉原麻里子(未定), ○玄場公規(法政大), 玉田俊平太(関西学院大)	2F15 形式的評価から実質評価への移行が必要な研究政策 ○大岩 元(協創型情報空間研究所/慶大名誉教授)	2G15 我が国における拠点形成事業の最適展開に向けて ○松尾敬子, 有本建男(JST), 佐藤 靖(新潟大)	2H15 しまねアカデミアという挑戦—学術界の革新に向けて ○吉澤 剛(阪大), 岩瀬峰代(島根大), 田原敬一郎(未来工研)	2I15 官民ファンドの功罪: 産業革新機構とシャープ, ジャパンディスプレイ, 東芝の事例から ○中田行彦(立命館アジア太平洋大)	2J15 “多能工型”研究支援人材育成コンソーシアム事業における職能評価と大学での実務実績の相関について ○伊藤正実(群馬大)	13:00	
13:15	2A16 自然災害における地域防災力と官民連携について ○小野高宏(一橋大)	2B16 欧米の主要ファンディング機関における研究開発評価システムのベンチマーキング ○橋詰直樹, 功刀 基, 一色俊之, 上坂 真, 植山正基(NEDO)	2C16 「お菓子工場に变身した学校」: 廃校施設を有効活用する取り組み(3) ○樋口元信(山口油屋福太郎)	2D16 サン・ディエゴ地域におけるスター・サイエンティストと企業との関わり ○隅藏康一(政研大), 菅井内音(慶大), 牧兼充(政研大/早大)	2E16 産業界におけるリケジョの活躍 ○犬塚隆志, 岡本摩耶(NISTEP)	2F16 チームサイエンスの科学に関する動向調査 ○王 戈(JST), 松尾由美(関東短大), 佐藤賢一(京産大)	2G16 諸外国の議会と科学技術 ○榎 孝浩(国会図書館)	2H16 責任ある研究・イノベーションのためのステークホルダーマネジメント—NEDOPJを事例に (CNT、生活支援ロボット)— ○藤本翔一(NEDO)	2I16 異業種企業と独立型自動車ティア2企業の取引関係における技術力蓄積のメカニズムに関する考察 ○佐藤政行(日本経済大)	2J16 URAに対する大学教員の支援ニーズ ○池見見俊, 永田晃也(九大)	13:15	
13:30	2A17 WS形式によるURA組織の役割の再検討 ○福島杏子, 望月麻友美, 高野誠(阪大)	2B17 研究開発プロジェクトにおける評価結果及び評価結果間の関連性に関する分析 ○一色俊之(NEDO)	2C17 障がい者の選択肢ある就労へ向けた雇用体制について—企業の事例研究より— ○草野圭一, 徳丸宜徳, 小竹暢隆(名工大)	2D17 科学技術文献データベースから構成される共著ネットワークを用いたファンディングプログラムの評価 ○藤田正典(東工大), 井ノ上寛人(東京電機大), 寺野隆雄(東工大)	2E17 大学における研究支援人材の概況: 産学官連携コーディネーターとURAを中心に ○高橋真木子(金沢工大), 古澤陽子(東大), 枝村一磨(日本生産性本部), 隅藏康一(政研大)	2F17 学際的な教育研究活動推進のための戦略: 研究大学の戦略計画に着目した日英米の比較研究 ○福井文威(政研大), 林 隆之(大学評価・学位授与機構), 新見有紀子(一橋大)	2G17 政府研究費の財源問題の根本的解決に関する一考察 ○茶山秀一(JST)	2H17 共創的イノベーションを体感的に学ぶための研修プログラムの開発 ○田原敬一郎(未来工研), 安藤二香(JST), 吉澤剛(阪大)	2I17 有機EL分野の大学発ベンチャーにおける事業創造—知識軌跡からの含意 ○小関珠音, 山田仁一郎, 新藤晴臣(大阪市立大)	2J17 中等教育・高等教育連携による人材育成取り組み ○若月 聡(東京理科大/東邦大/日大), 若月温美(東葉高校)	プロデュース研究分科会企画セッション プロデュースのあり方~その方法とスタイル~ 司会 久野美和子 挨拶 ○久野美和子(プロデュース研究分科会主査)	13:30

10月29日(日) 13:45~14:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
13:45	2A18 中小企業の共同研究開発に関する考察 ○長田基幸(一橋大)	2B18 組織(機関)のインパクト評価手法に関する考察—欧米主要ファンディング機関の事例比較— ○上坂 真, 一色俊之, 植山正基, 功刀 基, 橋詰直樹(NEDO)	2C18 新技術による事業開発の動的プロセスモデルの提案 ○加藤謙介(エフエックテック戦略研究所), 宮崎久美子(東工大)	2D18 スター・サイエンティスト後藤英一教授とマネジメント ○大岩 元(協創型情報空間研究所/慶大名誉教授)	2E18 アントレプレナー教育におけるコーチング手法導入の有効性 ○島岡未来子(早大), 田上誠司(FieldUP), 高田祥三, 朝日透, 小林直人(早大)	2F18 都市の持続可能なフードシステムの構築における超学際研究の位置づけ—「都市食料政策ミラノ協定」を中心に ○太田和彦(総合地球環境学研究所), 立川雅司(名大)	2G18 行政組織の人事異動がもたらす知識ギャップとオーラル・ヒストリーの知識伝承可能性 ○長谷川光一(九大)	2H18 ソーシャル・キャピタル蓄積の観点からみた都市計画のあり方 ○永田晃也, 小林俊哉, 西釜義勝, 長谷川光一, 諸賀加奈(九大)	2I18 女性起業家輩出のプログラム—宮城学院女子大学の取り組み— ○渡部順一(宮城学院女子大), 薄葉祐子(鶴岡工業高専)	2J18 教育連携と人材育成取り組みにおける考察 ○若月 聡(東京理科大/東邦大/日大/日本工大)	企画セッション 続き 基調講演 イノベーションを導く「カタルリスト」と「プロデュース理論」について—英国エリートの流儀に学びつつ— ○桜庭大輔(プロデュース研究分科会主査/NPO法人ZESDA代表)	13:45
14:00	2A19 日本製造企業の研究開発投資及び設備投資と収益性の業種別分析 ○玄場公規(法政大), 今橋裕(阪大), 竹岡紫陽(立命館大)	2B19 企業に対する市場の評価とニュース言語の関連性: 韓国企業を例にして ○菅 愛子, 高橋大志, 尹 聖在(慶大)	2C19 機能的食品の適正製造規範の有効性と課題 ○佐藤圭吾(東工大), 池田秀子(日本健康食品規格協会), 児玉耕太(立命館大), 仙石慎太郎(東工大)	2D19 「突出した才能」自身による自信確立のための「評価不可能性」自己評価ツール ○鈴木羽留香(同志社大/千葉商科大/立命館大)	2E19 発表中止	2F19 気候工学の超学際シナリオ研究の意義と課題 ○杉山昌広(東大), 朝山慎一郎(早大), 小杉隆信(立命館大), 石井 敦(東北大)	2G19 米国の新たな政権および議会の下での科学技術政策形成 ○遠藤 悟(日本学術振興会)	2H19 バイオマスリファイナリをより持続可能な地球社会システムとするために—政策的関与強化の必要性と期待— ○山本長史(神奈川県)	2I19 国内バイオ医薬品の研究開発に影響を与えた組織間関係パースペクティブについて ○大原高秋(高知工科大)	2J19 課題解決力強化のための大学生対象AL活動 ○櫻井敏三(日本経済大)	パネリスト ○伊藤正実(群馬大学教授、特定非営利活動法人産学連携学会元会長他) ○大坂吉伸((株)グローバルリンク社長) ○大津留栄佐久((一社)OSTi代表理事他) ○堂野智史((公財)大阪市都市型産業振興センターイノベーション推進部長兼クリエイティブネットワークセンター大阪メビック扇町所長・チーフコーディネーター)	14:00
14:15	2A20 NEDOプロジェクトにおける効果的なR&Dマネジメント ○富田純一(東洋大)	2B20 英国の大学評価REFに見られるライフサイエンス分野のアウトプットとインパクト創出プロセス ○小林直人, 島岡未来子(早大), Lily Yu(笹川平和財団)	2C20 標準を利用したアウトバウンド型オープンイノベーションの効用分類 ○江藤 学(一橋大)	2D20 日本のスターサイエンティスト分析に係るデータプラットフォーム整理 ○原 泰史(政研大)	2E20 討論	2F20 知の跳躍: 学際・超学際研究イノベーションの現場としての地球研 ○近藤康久, 熊澤輝一, 菊地直樹, 鎌谷かおる(総合地球環境学研究所), 安富奈津子(京大), 内山倫太(東北大), 林憲吾(東大), 橋本慧子(筑波大), 村松 伸(東大)	2G20 海外の大学・研究機関の運営について①: 事例調査: ISTオーストリア ○五十嵐美香, 川島 啓(日本経済研), 依田達郎(未来工研)	2H20 現代科学技術の特徴の歴史的形成一マクロ現代史の視点から ○佐藤 靖(新潟大)	2I20 NEDO事業に参加した中小・ベンチャー企業の開発成果に関する評価 ○植山正基, 功刀 基, 一色俊之, 上坂 真(NEDO)	2J20 NEDOプロジェクトにおけるプロジェクトマネージャーの育成と課題 ○吉田朋央, 徳岡麻比古(NEDO)	モデレータ ○桜庭大輔(同上)	14:15

10月29日(日) 14:30~15:00

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	
14:30	<p>2A21 コンソーシアム型による実用化技術の研究開発プロジェクトに関するネットワーク分析 ○野間口隆郎(和歌山大), 林田英樹(阪大), 船島洋紀(神戸大), 山崎 晃(千葉工大), 高橋雅和(山口大)</p>	<p>2B21 Evaluation of Lifestyle Change Based on Ontology Engineering ○Kevin Muhamad Lukman, Ryuzo Furukawa, Masae Mitsuhashi, Mizuki Higashi, Katsuya Teratoko, Riichiro Mizoguchi (Tohoku Univ.)</p>	<p>2C21 サービス業のイノベーション、サービスによる他産業のイノベーション—サービスにおけるサービスの役割の変容と多様化に関する一考察— ○妹尾堅一郎(産学連携推進機構)</p>	<p>2D21 討論</p>		<p>2F21 学際研究から超学際研究へ—総合地球環境学研究所の取り組みとその評価について— ○押海圭一(総合地球環境学研究所)</p>	<p>2G21 海外の大学・研究機関の運営について②: 事例調査: カリフォルニア工科大学 ○依田達郎(未来工研), 五十嵐美香, 川島啓(日本経済研)</p>	<p>2H21 ゲノム編集食品によるイノベーションのための提言(遺伝子組換え食品との違いについて) ○竹澤慎一郎(セツロテック)</p>	<p>2I21 企業財務データから見るイノベーション ○松野祐治(一橋大)</p>	<p>2J21 インターネットを介したコミュニケーション (computer mediated communication: CMC) の特性と国際的指向性に関する実践的研究 ○田平由弘(パナソニック/立命館大), 後藤智(東洋学園大)</p>	<p>企画セッション 続き</p>	14:30
14:45	<p>2A22 中堅・中小企業におけるオープンイノベーションの現状と活用の方策—関西18商工会議所によるアンケート調査及びインタビューの分析結果— ○名取 隆(立命館大)</p>	<p>2B22 健康・医療分野における日米欧の研究開発課題の比較—2型糖尿病を例に— ○重茂浩美(NISTEP), 小笠原敦(滋賀医科大)</p>	<p>2C22 DMM.make AKIBA ハードウェア・スタートアップ支援の取り組み ○木戸冬子(東大)</p>			<p>2F22 「突出した才能」理解のための全体俯瞰から「評価不可能性」評価デザインのための全体最適までの体系化 ○鈴木羽留香(同志社大)</p>	<p>2G22 Exploring the Landscape of Research Funding in the Arab Region ○ElHassan ElSabry (GRIPS)</p>	<p>2H22 「創造的な英国」における科学技術と社会: バイオメディカル研究とクリエイティブ産業の協働 ○木村めぐみ(一橋大), 三成寿作(京大)</p>	<p>2I22 アントレプレナーシップ・モチベーション ○金間大介(東京農大)</p>			14:45

15:00

15:00

